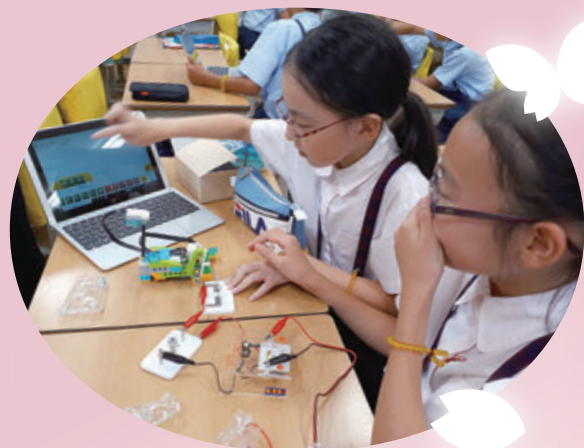


知性と品格をはぐくむ 12年一貫教育

智辯学園 和歌山小学校



感謝の心と強い絆
そして未来へ



CHIBEN GAKUEN 2021年度版

教育目標

誠実・明朗

－ 真心のある明るく元気な子 －

目標とする人物像

1. 明朗で知性溢れる人
2. 不屈の精神と使命感を持つ人
3. 自己を確立しつつも社会性豊かな人
4. この世に生をうけた幸福を知る人



学校法人 智辯学園
理事長 藤田 清司

のびのびと いきいきと こどもたちの夢を育てたい

智辯学園和歌山小学校は、二十一世紀が要請する叡智と深い人間性を備えた真のエリート、つまり「真」・「善」・「美」・「聖」の高い価値を身につけた人材を育成するために、2002年4月10日開校しました。

智辯学園和歌山中学・高等学校は開校以来42年、この和歌山の地で6年一貫教育を基軸とした教育を営んでまいりました。今日まで智辯学園が一番大切にしてきた教育の理念、それは「能力の最大伸長」と「人間性の陶冶」、つまり自分の能力の可能性を信じ、豊かな心を持つ人に育ってほしいとする、総ての親の願いに応える教育を進めるということです。この教育理念のもとに推進してきた学園教育は、確実に実を結び今日に至っています。この教育をさらに大きく発展させるために、学園がいままで実践してきた中・高一貫教育に小学校を加え、小・中・高を見通した系統的、継続的な12年一貫教育に歩を進めたのです。

智辯学園和歌山小学校は、小・中・高を見通した教育軸の中で受動的知識の習熟の教育から能動的知識の習熟の教育プログラムを構築し、あわせて、豊かで喜びのある、何事にも意欲的にとりくめる人間性を育むために「こころ」の教育を推進し、12年一貫教育だからできる教育を通して、のびのび・いきいきと「こどもたちの夢」を育てたい、そのような教育を実践しています。



能力と資質を最大限に伸ばす 12年一貫教育



校長 渡瀬 金次郎

小学校・中学校・高等学校までを同じキャンパスで過ごす……

1本の教育軸で結ぶ12年一貫教育だからこそ出来る真の心の教育としっかりとした基礎学力を総合的に身につけられます。これまで実践してきた6年一貫教育の確たる実績に裏付けられた自信があつてのことです。

この中高6年一貫教育を母体に、子どもの能力と資質を最大限に伸ばす12年一貫教育を進め、愛のある教育を実践しています。



深い思考



力強いリーダーシップ

中学校
高等学校

【年間授業日数約250日】



国際人として
広がる心



感謝の心

小学校

【年間授業日数約235日】



自然から学ぶ豊かな心



深め合う絆



心を一つに

品格

感謝の心
思いやりの心
たくましく
育てる



主体的な学び

知性

学ぶ意欲を育てる
思考力・表現力

さあ、小学校生活の
スタート!



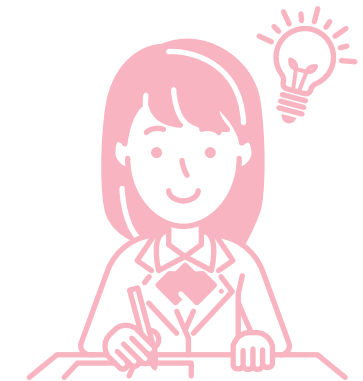
発達段階に応じた教育で、総合的な学力を養う。

小学1年生～小学4年生
基礎・基本期



好奇心・探求心が盛んな脳の発達期に、体験を重視した学習を通して学ぶことの楽しさを教え、基本的な学習の習慣を身につけます。

小学5年生～中学2年生
発展・向上期



心身の発達の著しい成長の黄金期に、系統的な教科学習を主軸に高さと深さを求めた本格的な学びのあり方と自学自習の姿勢を身につけます。

中学3年生～高校3年生
習熟・充実期



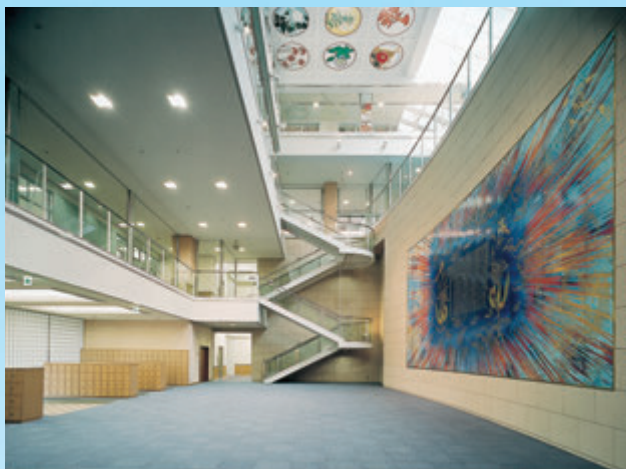
幅広い自我を伸長する自己確立期に、徹底した教科指導で高度な学力を養成し、多様化する大学入試を考慮した各自の目標にあった合理的な学習法で応用力を身につけ大学受験合格を目指します。

12年一貫教育を実現するためにふさわしい環境

学園の高台から、和歌浦の海に沈む夕日が眺められる。小学校の建物は、この夕日の方向を主な軸線として、構成され展開されてゆく。

新設校舎と既設講堂の新旧2つのシンボルをバランス良く配置することで、キャンパスの北面に新たな顔を表示し、内装は感性を育むというコンセプトのもとに、南面にある大きな天窓から、四層吹き抜けの最下のエントランスホールへ太陽光が降り注ぎ、宇宙を表す大型美術陶板と相まって、幻想的な雰囲気を創出している。

画一化された空間ではなく、抑揚と変化に富む、包まれるような優しさや暖かさを感じられるよう内外空間の演出を試み、『小学生』という年齢を生きる子どもたちに、豊かな感性を育てる学びの器となることを強く希求し、それが設計の原点である。



エントランスホール



小学校校舎全景



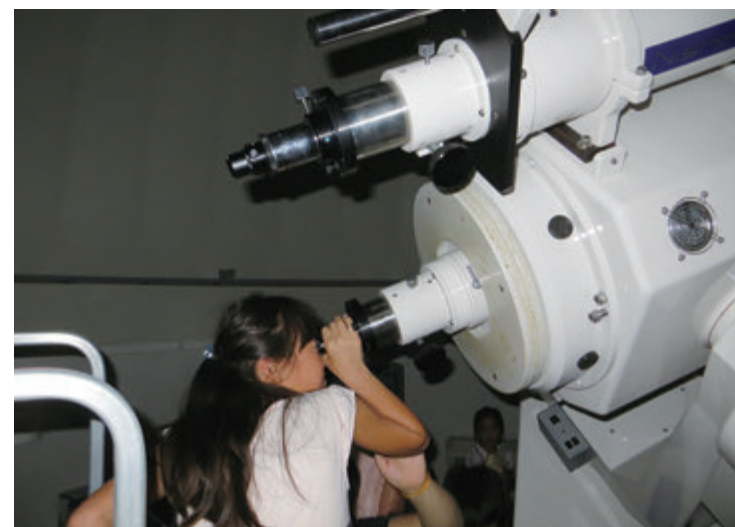
北西外観



小学校専用グラウンド



稲刈り



親子で星を観る会



とれたお米でおにぎり昼食

ひとりひとりの意欲を伸ばす あたたかい教育

楽しい学校であるために

子どものキラキラした目の輝きに秘められた豊かな好奇心を大切に育て、学ぶことの、知ることの喜びと感動を十分に経験させたい。子どもたちにとって楽しい学校にしたいと思っています。では、楽しい学校とはどのようなことを意味するのでしょうか。それには、まず授業がよく分かることです。子どもたちは本来、“知りたい”、“何でもやりたい”、“分かってほしい”と真剣に願っているものです。本当に考えることが大好きなのです。そののぞみを充分にかなえてやりたいと考えています。

次に、大好きな友達がたくさんいることです。その友達とおもしろい、学び、遊べる学校生活はきっと楽しいはず。また、先生が大好きというのも絶対に必要です。私たちは「いつも子どもとともに」を大切にして、何事によ学校全体で感動が共有できる学園にしていきたいと思っています。

一方、保護者の皆さんとも、しっかりとスクラムを組んで子どもの教育ができるよう、できるだけ多く保護者の皆さんが参加できる行事を考えています。保護者の皆さんとの、しっかりとした理解と信頼関係があってこそ、子どもたちは安心して、学校生活を送ることができます。子どもの未来づくりのためにお互い何ができるのか、ともどもに頑張りたいものです。

この学校に来てよかった。この学校に来させてよかった。皆さんの子どもを受け入れてよかった。それぞれが心からそう思える。子どもと、親と、先生とが一体となった、明るく、楽しい学校づくりを大切にしています。

12年一貫教育の特色

主体的に学ぶ力

総合的思考力

小学校は基礎学力をつける大切な時期です。小学校の6年間を通して次のステップである中・高へ進むための基礎となる確実な勉強が必要です。発達段階に応じて、しっかりとした基礎学力を総合的に身につけなければなりません。

学習の根本には、単に理数系の学力問題にとどまらず、文章題を読解するための国語力、論理性を育てていくもとなる国語力があります。国語の学力はいろいろな教科の「学ぶ力」を支えていく大切なものです。

勉強とは「読むこと」、「書くこと」、「計算すること」が基本であることと言うまでもないことです。基礎学力の徹底、そのことは数学教育の徹底、国語教育の徹底でもあります。この両者にしっかりと軸足を置いて、小学校から高校まで一貫したシステムの中で、総合的思考力を育成していきたいと考えています。

専科制と教科担任制

教科・学年の状況に応じて、専科制・教科担任制を導入します。各教師が専門的な知識を持つ教科を担当することで、密度の高い学習と、わかりやすい授業が可能となります。また、学年によってチームティーチング制を取り入れ、子どもたちの学習・学校生活に、より安心感のもてるようにと取り組んでいます。

読書タイム

数学は全教科の言葉、国語は全知的活動の言葉であるとも言われています。つまり国語こそ教養の中核をなすものであり、本学園では特に力を入れます。そのために低学年では、しっかりとした読書力を身につけることを重視しています。本を読むべきタイミングがあります。読むべきタイミングを逸してはならないのです。あらゆる学習活動の中で進めていきますが、毎朝始業前に読書タイムを設定しているのもその一貫です。

英語教育

子どもは、新しい語彙や考え方を吸収しようとする生まれ持った好奇心やすばらしい能力を持っています。そのような子ども本来の能力から考え、1年生からEタイム(英語活動の時間)を設定しています。ただ、英語に対する早期英才教育を目指すものではなく、広い視野をもつ国際人としての資質の向上に役立つよう、英語に親しむことを目的にしています。特に低学年では、英会話入門、音声の学習を中心に、楽しく英語の初歩を学ぶために取り組んでいます。一方、6年生では、海外の児童生徒との交流会や修学旅行でのコミュニケーションなど、英語を使う機会があります。低学年から学習を継続させることで、英語を使うことへの抵抗意識を和らげ、積極的に実践できるようにしています。

情報教育

ネットワーク社会と言われる現代において、情報教育にも力を入れています。まず、コンピュータやタブレット端末に慣れることから始め、考える道具としての利用法、さらには、情報化時代における様々なコミュニケーションツールとしての使い方など、現代社会に対応するための基礎を培います。また、各教室に設置したプロジェクターや書画カメラ、タブレット端末を使つてのプレゼンテーションや、コンピュータを使ったプログラミング教育など、ICT教育の充実にも力を注いでいきます。



姉妹校コーニッシュカレッジ(メルボルン)の歓迎会



救急救命法について学びます



タブレットを使つての授業



図書室で読書



コーニッシュカレッジの校長先生に英語であいさつ



天神崎での生き物観察



梅干し作り



コーニッシュカレッジの生徒との交流会

豊かな人間性

教育の目的が人格の感性を目指すことにある以上、「心」の教育は極めて大切です。本校では、仏教の教えに基づいた宗教的情操による「情感をはぐくむ教育」の実践を通して、心の豊かな、感謝の心を持った人間の育成を図ります。具体的には、

- (1) 週1時間、宗教の時間を設定し、人と心の問題を学ぶ。
- (2) 毎月1回、感謝祭を行い、「父母の恩に感謝する」、「衆生の恩に感謝する」、「天地の恩に感謝する」、「三宝の恩に感謝する」ことを学ぶ。
- (3) 毎朝始業前のひととき「御真言・御宝号」をとまえ、決意新たに一日の行動を開始する。
- (4) あらゆる機会、あらゆる生活の場で、「情感をはぐくむ教育」を行い、感謝と奉仕のできる人間に成長するように努める。

これらが、特に心がけていく点です。



みそ造り

たくましい心と体

何よりもこのことが根底になければならないのは周知のことです。「からだ」と「こころ」をきたえ、何事にも意欲的に取り組むことができる教育を大切にしています。その実践のための学校行事・課外活動を考え、心と体をつくるのはもちろんのこと、個人の責任感、みんなで協力することの大切さ、みんなで達成したときの充実感を育成したいと考えています。

また、小学校では「遊び」も人間形成における重要な教育の一つです。「いつも子どもとともに」をモットーに、遊びの中でも、先生と子どもとの触れあいを大切にしています。

一週間の活動

週時間割

授業時間は1校時を45分で進めています。各学年とも各教科の質と量に対応するため、学年進行にしたがって授業時数を増加します。時間割設定の基本は、従来型のタスク・オン・タイムではなく、学習活動(タスク)に合わせて学習時間(タイム)を決めていく(タイム・オン・タスク)の考えに立っています。つまり、授業をより効果的なものにするために、2校時を1つのブロックにするとか、時間を小さい単位(モジュール)に設定するなどを含み、単位時間の弾力化を図るということです。また、4～6年生における一層の学習の充実を図るために、0校時(8:55～9:40)を設定するとともに、3～6年生の下校時刻を15時30分にしました。更に、クラブ活動や特別活動などは、金曜日の5限目に設定しています。なお、登校時刻は、低学年(1～3年)は9時15分まで、高学年(4～6年)は8時45分までとなっています。ただし、1年生については、学校生活に慣れるまで学習時間を調整していきます。

1年生の時間割表

	時	曜	月	火	水	木	金		土
登校時 (JR)	和→8:52(黒江) 8:51←海								
9:15 }	朝の会							9:15 }	朝の会
9:40	読書							9:30	読書
9:50 } 10:35	1 限	生 活	図 工	算 数	国 語	体 育	9:35 } 10:20	国 語	
10:45 } 11:30	2 限	国 語		体 育	体 育	国 語	10:30 } 11:15	算 数	
11:30 } 11:55	昼食							11:25 } 12:10	宗 教
11:55 } 12:15	昼休憩							終わりの会 12:10～ 12:30 下校 和← 12:57 海← 13:00	終わりの会
12:20 } 12:30	清掃								下校
12:35 } 13:20	3 限	算 数	国 語	E タイム	算 数	算 数	和← 12:57		
13:30 } 14:15	4 限	E タイム	音 楽	国 語	音 楽	算 数	海← 13:00		
14:25 } 15:10	5 限		算 数	国 語	生 活				
	終わりの会 14:15～14:30(月・金) 15:10～15:30(火・水・木) 下校 14:30(月・金) 和←14:54(黒江) 15:00→海 15:30(火・水・木) 和←15:54(黒江) 16:01→海								

6年生の時間割表

	時	曜	月	火	水	木	金		土
登校時 (JR)	和 →8:18 (黒江) 8:16←海								
8:45 ～ 8:55	朝 の 会 ・ 読 書							8:45 ～ 9:10	朝 学 習
8:55 ～ 9:40	0 限	社 会	国 語 A	国 語 A	算 数	算 数	9:15 ～ 9:30	読 朝 書 の 会	
9:50 ～ 10:35	1 限	家 庭	図 工	算 演 習	体 育	E タ イ ム		9:35 ～ 10:20	学 活
10:45 ～ 11:30	2 限	家 庭	図 工	体 育	国 語 A	国 語 B		10:30 ～ 11:15	算 演 習
11:30 ～ 11:55	昼 食							11:25 ～ 12:10	国 語 B
11:55 ～ 12:15	昼 休 憩							終わりの会 12:10～ 12:30 下 校 和← 12:57 海← 13:00	
12:20 ～ 12:30	清 掃								
12:35 ～ 13:20	3 限	国 語 B	E タ イ ム	音 楽	社 会	理 科			
13:30 ～ 14:15	4 限	算 演 習	宗 教	算 数	理 科	音 楽			
14:25 ～ 15:10	5 限	体 育	算 演 習	社 会	理 科	ク ラ ブ 委 員 会 ・			
	終わりの会 15:10～15:30(月～金) 下 校 15:30 和←15:54 (黒江) 16:01→海								



学級活動の時間



図工の時間



昼休憩の時間



生活の時間



Eタイムの時間



算数の時間



音楽の時間

グループ活動の時間

行事 ―ひとつひとつの行事を大切にしたい―

いつも一生懸命取り組んでいます。



野球体験教室



七夕飾りを
作ります



ちまきをおいしくいただきました



クラブ活動



水泳教室



ひなまつり集会



節分集会



和歌山市消防音楽隊による演奏会



運動会の練習 みんなで力を合わせて！



秋の収穫 芋ほり



七夕集会



古墳塚に参拝

毎月 ●授業参観と保護者を催します。 ●感謝祭を行います。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
●一学期始業式 ●入学式 ●新入生保護者会 ●健康診断	●こどもの日の集会 ●避難訓練 ●春の遠足 ●親子学校見学会(幼児)	●水泳教室 ●臨海学校 ●田植え	●七夕集会 ●入試説明会 ●林間学校 ●一学期終業式	●三者面談 ●親子で星を観る会 ●保護者懇談会	●二学期始業式 ●夏休み作品展 ●留学生との交流会 ●音楽鑑賞会	●運動会 ●秋の社会見学 ●秋の収穫	●入学試験	●文化祭 ●二学期終業式 ●三者面談	●三学期始業式	●節分集会 ●修学旅行(オーストラリア)	●ひなまつり集会 ●卒業式 ●三学期終業式 ●三者面談

運動会 全員で力を合わせてがんばります。



文化祭 みんなで盛りあげます。



臨海学校・林間学校

大阪府立青少年海洋センター(5年)
高野山(3年)
白崎青少年の家(1,2年)
田辺スポーツパーク(4年)



春の遠足

万葉館・片男波公園(2,5年)
四季の郷公園(3,4年)
紀伊風土記の丘(1,6年)



秋の社会見学

海南市わんぱく公園(1年)
明治ヨーグルト館・善兵衛ランド(2年)
大阪ガス ガス科学館(3年)
和歌山大学教育学部(4年)
大阪歴史博物館・大阪市立科学館(5年)
ピース大阪・造幣局(6年)



オーストラリア修学旅行

メルボルンにある姉妹校を訪れ同世代と楽しく交流し、
たくさんの思い出ができました。
また、シンガポールでも貴重な体験ができました。



シンガポールの植物園で



姉妹校コーニッシュカレッジを訪問しました



ブーメラン投げに挑戦



アボリジニーペインティング体験



ピリティ&ダンパー



バディといっしょに



姉妹校の友達といっしょに



2年生に折り鶴をかけてもらいました



自分の名前のリボンをもって

卒業式

大きく成長して、
卒業しました。

心をこめて歌います



校長先生の式辞



決意表明



入学式

今日から小学校生活の
スタートです。



さあ、入学式ですよ



がんばります



理事長先生のお諭し



中学校に行ってもがんばります



小学校について Q & A

Q-1 学校の規模はどのようなですか。

A 1学年の定員は約80名(男女共学)、2学級編制です。

Q-2 学費などの諸経費はいくらですか。

A

入学時の費用		一年間の学費
入学金	200,000円	授業料、育友会費、旅行費、 学級費など 約610,000円
制服・制成品代	約140,000円	

※入学手続後、「特別寄付金」として、1口100,000円(3口以上とし、口数は任意とする)のご協力をお願い致します。また、一年間の学費については在学中に改定されることがあります。

Q-3 通学方法について。

A

スクールバスの運行は現在行っておりません。したがって、児童の登下校は徒歩、J Rの利用、自家用車による保護者の送迎のいずれかになります。但し、自家用車の送迎は、自立を考え過剰にならないこと、一般の交通の妨げとならないよう指示を遵守すること、などにご留意ください。また、J Rを利用する場合、本校の中高生を含む朝のラッシュを避けるため、9ページの時間割表に示している列車を利用してください。J R黒江駅と学校の間は教員が引率して、集団登下校します。

Q-4 昼食について。

本校ではご家庭の愛情弁当をお願いしております。お弁当を通じて、親と子の会話が生まれ、親への感謝の心をはぐくむことができると考えております。各家庭でお弁当を作り、持たせてください。

Q-5 土曜日の扱いはどうしていますか。

A

月1回(第二土曜日)は休みとなりますが、他の土曜日は平常授業となります。

Q-6 学校行事と保護者の参加について。

A

いろいろな体験を通して、豊かな人間性を育むこと、また児童相互の関係を深めるために、できるだけ行事(春の遠足・秋の社会見学、林間・臨海学校、オーストラリア修学旅行、運動会、文化祭、音楽鑑賞会、季節の行事、夏休み作品展、図工作品展、親子で星を観る会など)を多くとり入れています。一方、行事などを通して上級生や中高生との係わりの時間を作るよう心掛け、「縦割り学習」を進めています。保護者のみなさんとは、しっかりとスクラムを組んで子どもの教育を進めていくために、子どもといっしょに参加できる行事、保護者のみを対象にした行事、学期ごとの三者面談、授業参観、学級懇談会(学年懇談会)等、学校とみなさんとが自由に話しあえる機会を設定しています。

Q-7 先生の構成は。

A

スタッフは、小学校経験豊かな先生、学園中・高を経験した先生、新採用のフレッシュな先生で構成し、専科の担当としては、中・高から専門の先生も充当しています。

Q-8 学習意欲や興味・関心を高める手だてとしては。

A

1年生では音楽・図工・体育・Eタイム(英語活動)・宗教などの教科について、専門の先生、ネイティブティーチャーによる指導を行い、学年進行にともないその対応範囲を広げ、4年生からはすべて教科担任制を取り入れます。児童のもっている能力を引き出すには早い時期から専門の先生の指導を受けることが大切だからです。T・T(複数の先生で教える)も実践しています。教壇と机間の両方から先生が児童に係わることにより、一人ひとりの児童によりそう時間を増やしたり、一人ひとりの児童のよさを多面的に理解したりしたいと願ってのことです。一人の先生にすべてが委ねられてしまう学級王国はさけ、児童の扱いを形式的平等から実質的平等にと考えています。また、体験学習を重視したいと考えています。実体験・実物にふれた感動から深まる興味と理解、これこそが「学ぶ」ことの基礎となります。さらに、I C Tを使つての学習活動や、アクティブ・ラーニングにも力を注いでいきます。

Q-9 校舎にはどんな特色がありますか。

A

校舎のすべては、児童の生活の場であり、学習のメディアです。まず、「安全」、そして「明るく」、「清潔」で「あたたかい」空間をつくることを主軸として構成しています。地上4階、床面積は約5400㎡、既存の中・高との一体性をもつ、弾力的・機能的な設計となっています。天窓から太陽光を存分にとり込める、四層吹き抜けの斬新な構造。最下のエントランスホールには、宇宙を表す大型美術陶板を設置、3階から4階のアリーナは、周りに教室が設置されたユニークな構成、図書室、大型望遠鏡を設置した天体観測ドームに加え、平成23年度より各教室・特別教室にプロジェクターを設け、視聴覚教材利用の充実を図るなど、学習のデジタル化に向けて従来型の学校スタイルから大きく姿を変えた特色を有しています。

Q-10 入学児童の募集について教えてください。

A

- ① 受験資格について。
2021年4月に小学校入学の年齢に達する幼児なら、だれでも受験できます。
- ② 通学範囲に制限はありますか。
通学範囲は特に定めていません。
但し、児童は保護者と同じ居所から通学することを原則とします。
- ③ 募集人員は何人ですか。
新1年生のみ、約80名(男女)の募集となります。
2年生以上の編入等の募集はありません。また、男女別による人数枠は考えていません。
- ④ 入学試験はいつ行われるのですか。
1次試験…2020年11月8日(日)
2次試験…2021年1月31日(日)
詳しい日程・募集要項等は入試説明会(8月1日)にて説明致します。なお、すべてインターネット出願となります。
- ⑤ 入学試験はどのようにして行われるのですか。
生活年齢に応じた判断力、基本的生活習慣や生活態度等について集団行動、ペーパーテスト、個別テストなどにより総合的に判断します。
- ⑥ 保護者の面接はありますか。
保護者は両親を原則とし、親子面接の形で行います。



明るく元気に登校してきます



マルチビジョンルーム



視聴覚教室(小講堂)



中庭の藤棚

教育の特色

智辯学園が目標とする「人」は

1. 明朗で知性溢れる人
2. 不屈の精神と使命感を持つ人
3. 自己を確立しつつも社会性豊かな人
4. この世に生をうけた幸福を知る人

教育目標

● 知力の徹底的訓練を期す

知力を磨くためには、知識を修得するだけでなく、それらを発展的に活用する体系的な思考力も身に付けることが必要です。本学園では1校時を60分とし、週単位時間数や年間授業日数も可能な限り確保。英語、数学、国語の基礎学力の習得に特に配意。さらに十分な時間をかけて授業を行うことで高度な内容にまで理解を深め、思考力・創造力を養います。これにより、生徒が望みうる最高の大学進学の実現をめざします。

● 「情感」をはぐくむ教育

教育の目的は人格の完成をめざすことであるため、「心」の教育は大変重要です。本学園では宗教的観点に立った“情感をはぐくむ教育”を実践し、美しいもの、すぐれたものに接して感動する心豊かな人間の育成を図っています。そのため、「宗教」を必修とし、履修を義務づけています。そのほか、毎日の読経や月一回の「感謝祭」など、あらゆる機会をとらえ、自分自身を見つめ直します。
・「宗教」の時間…「人と心」の問題、道徳と哲学の時間です。
・「感謝祭」…四恩(父母の恩、衆生の恩、三宝の恩、天地の恩)に感謝します。

● 三位一体の教育

本学園の教育は相互の信頼と扶助にもとづく努力と創造によって達成されるものと考えています。同じ志の下に集い、努力を惜しまず目標に挑戦する生徒と、本学園の教育理念に賛同し、我が子の成長を願い日々の教育を支える保護者、そしてその親の願いを叶えるべく、日々研鑽を積み、情熱を持って生徒に関わる教職員。三者の結束と連携が発揮されることで、本学園に求められる全ての希望と期待が充足されるものと確信しています。

● 国際人を育てる教育

国際的な教養と感性、国際平和をめざす強い意思は、これからの時代ますます重要になります。本学園では真の国際人としての成長をめざし、海外交流を重ねています。アメリカ・ワシントン、韓国・ソウル、オーストラリア・シドニーにある姉妹校と交換留学を行っています。他国の同世代の若者との交流を通じて、世界平和の重要性の再認識と国際人としての資質を養います。

● 体験型学習を通して自主性・協調性を養う

中学校では各学年でそれぞれ3～4日の校外研修を実施しています。中学1年では奈良県の曽爾高原(国立曽爾青少年自然の家)で林間学校を行い、これから共に勉学に励む仲間との協調性を育みます。中学2年では淡路島で臨海学校(国立淡路青少年交流の家)を行い、カッター研修にチャレンジしたり、伝統文化に触れたりします。いずれも豊かな自然に親しみ、規律ある団体生活を通して、自主性や責任感、リーダーシップを養う貴重な機会です。中学3年は広島で平和学習を行うとともに、瀬戸内海沿岸を周遊し、それぞれの地域の歴史や文化を学びます。

難関国公立・私立大学

小中高12年一貫コース卒業生に限る(1学年定員80名)

合格実績

国公立大学

	2020年(7期生他)	2019年	1～7期生
東京大学	3	3	13
京都大学	0	1	17
大阪大学	2	1	11
神戸大学	2	1	11
国公立大学医学部医学科※	12	12	95
合 計	19	18	147

※文部科学省管轄外大学校合格者含む

私立大学

	2020年(7期生他)	2019年	1～7期生
早稲田大学	8	8	45
慶應義塾大学	2	1	17
同志社大学	10	8	66
立命館大学	14	8	67
関西大学	6	2	30
関西学院大学	5	6	50
私立大学医学部医学科	20	13	77
合 計	65	46	352



建学記念講堂



図書館1階ロビー



コンピュータ自学自習室

智辯学園和歌山中学校・高等学校は、和歌山県当局の強い要請と、藤田照清前理事長の私学教育に懸ける熱意とが醸成し、昭和53年4月に開校した。爾来42年間、知力の徹底的訓練を期した教育は、確実に実を結び大学進学の実績は全国のトップレベルに位置する。なお、平成29年度から新しい学習内容について、よりきめ細かに対応するため、一校時を60分とした。一方、感動を共有する学園教育の一翼を担う野球部の活躍は、近年とみにめざましく、平成に入ってから春・夏甲子園において、優勝3回、準優勝4回と、まさしく智辯学園の時代を迎えている。特に、平成24年夏には、夏の甲子園大会8年連続出場、平成31年春には、平成時代の甲子園大会最多勝利数63を誇っている。

なお、3年前から、編入コースに陸上部が創設され、勉学だけでなく、高校駅伝大会を目指して、日々練習に励んでいる。昨年は全国高等学校駅伝競走大会において男子チームが和歌山県代表として初出場を果たした。

生徒の一日

校時表[60分授業]

読 書	8:25～8:35
1限目	8:35～9:35
2限目	9:45～10:45
3限目	10:55～11:55
昼 食	11:55～12:30
4限目	12:30～13:30
5限目	13:40～14:40
6限目	14:50～15:50
7限目	16:00～17:00

● 読書時間[8:25～]

興味・関心のある分野の書籍を読み、幅広い教養を身につけます。

● 読経[8:35～]

始業前の読経で心を静め、決意を新たに一日のスタートをきります。

● 昼休み[11:55～12:30]

● 放課後[15:50～]

(コースによっては7限目もあります)

12年一貫コース



中森健人さん(3期生)
大阪大学医学部医学科5年

私は3期生として智辯和歌山小学校に入学しました。今は大学で臨床実習を行い、実際の現場で医学の知識を学んでいるところです。小学校での教科書に留まらない授業や、先生、同級生との出会いを通じて学んだことは、それからの中高、大学での学生生活でも役に立っていて、辛いとき、怠けそうな時も一歩留まる力をくれています。また、12年一貫ということで、勉強だけでなく自分の興味ある事を考える時間、サポートもありました。このような環境で過ごせたことにはとても感謝しています。皆様にもぜひ智辯和歌山に入学して、尊敬できる先生や友達と素晴らしい環境の中で楽しく充実した12年を作って欲しいと思います。



林 夏帆さん(7期生)
東京大学文科一類1年

私は、小学校から12年間智辯学園でお世話になりました。この春、東京大学文科一類に進学し、将来検察官になることをめざしています。私が法律関係の仕事に興味をもったきっかけは、小学校5年生のころに受けた公民の授業でした。小学生のうちから先生方の熱心な指導を受けたことで、将来やりたいことを早い段階で決めることができました。また、修学旅行や社会見学などの楽しいイベントを通じて視野を広げることができたのも智辯小学校の魅力だと思います。この12年間、智辯学園で学んだ事をこれからの生活に活かしていきたいと考えています。



岡村直樹さん(7期生)
広島大学医学部医学科1年

部活動が終わってから、私は一日の大半を受験勉強に費やしました。勉強に専念する、というのは簡単なようで、とても耐えられない必要のあることでした。

私は中高で吹奏楽部に所属し、部長も務めました。日々朝から放課後まで必死に楽器を練習した経験は、その忍耐力の基盤となり、自分の第一志望に真剣に向かい合い、何があっても諦めずに突き進むことができました。

12年一貫教育のゆとりある環境の中、智辯小学校では日々の授業やたくさんの行事を通じて、様々な体験の中から学ぶことができました。

智辯小学校は、多くのことを吸収していく大切な時期を過ごすのに、最適な学び場だと思います。



小倉悠聖さん(7期生)
東京大学文科三類1年

こんにちは！ 東京大学文科三類1年生の小倉悠聖です。僕の合格は全て智辯和歌山という学舎で過ごした12年間のおかげであると言っても過言ではありません。意識の高い友人たちと熱心な先生方に刺激を受けて、早くも小学校時代から将来の夢ができ、それが最後まで僕の原動力となりました。中高時代には先生方による献身的な個別指導や質問対応により学力が向上しただけでなく、応援団の一員として活動した野球応援や修学旅行などの行事を全力で楽しむ中で、多くの人とのかけがえのない絆が生まれました。皆さんもこの学校に通い、「智辯ファミリー」の一員として一生自慢できるような青春を味わってみませんか。

せんぱいからの メッセージ



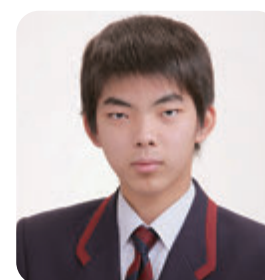
宮田万輝さん(8期生)
智辯学園和歌山高等学校3年

智辯学園和歌山小学校に入学したきっかけは、幼稚園の時に一番仲良かった友達と一緒に学校に行きたいというほんの子供心でしたが、小学校生活で得た思い出と経験は今も私の軸となっています。人前に立つのが好きな私の個性を尊重し、リーダー性を見出してくださった先生方のサポートを受けて挑戦した児童会活動や、親元を離れ、異文化に触れることで両親への感謝を改めて感じ、グローバル社会への興味を持つ第一歩となった修学旅行は、現在生徒会書記を担当している高校での生徒会活動や、英語に携わる仕事がしたいという将来の夢に大きな影響を与え、今の私を形作る大きな力となりました。小学校での一つひとつの経験が広がってくれた可能性ある未来に向かって更に高く羽ばたいていけるよう、努力を怠らず日々精進していきたいです。



湯川慶治郎さん(8期生)
智辯学園和歌山高等学校3年

12年前、私は智辯学園和歌山小学校に入学し、現在高校3年生になりました。高校生活を生物部部长や応援団員として過ごしましたが、これには智辯学園和歌山小学校での、知的好奇心を育む体験学習や、月一回行われる感謝祭、将来各分野で活躍できるリーダーを育てるという教育方針が生きてきていると私は考えます。また12年一貫教育だからこそ得られた、自身のことを親身になって寄り添ってくれる仲間たちは本当にかけがえのない宝物です。甲子園での感動を始めとする貴重な経験を与え、今の私を育ててくれたこの場所に、恩返しできるように最後まで友人たちと切磋琢磨し精進していきたいです。



中川淳之さん(11期生)
智辯学園和歌山中学校3年

私は小学校から智辯学園に通い、今年、中学3年生になりました。

小学校では、友達と中学入試の難しい問題を解く算数演習の授業が一番楽しかったです。解けると、先生が更に難しい問題をどんどん与えて下さって、解けた時の爽快感から、算数が益々好きになりました。

また、疑問に思った事は、先生が丁寧に指導して下さいるので、とても心強かったです。

私は、温かく見守って下さる先生方を支えに、目標に向かって頑張っていきたいと思っています。



青木梨衣奈さん(14期生)
智辯学園和歌山小学校6年

私は、5年生の時に全国小・中学校作文コンクールで賞をいただきました。元々、文章を書くことが苦手で悩んでいた時、先生からアドバイスを書いた紙をいただきました。そのことがきっかけで積極的に作文を書くようになり、どんどん上達していきました。今はその紙を愛用の辞書に貼り、大切にしています。

入学してから沢山の先生方に教えていただきました。智辯和歌山小学校の先生方はいつも私たちの小さながんばりを見つけてほめてくれます。自分に自信がなかったけれど、「やればできるんだ」と気付かせてくれました。私は智辯学園和歌山小学校が大好きです。これからも、もっとこの学校で学びたいと思います。

案内図



智辯学園和歌山小学校

〒640-0392 和歌山県和歌山市冬野2066-1
TEL 073(479)1200 FAX073(479)2827
<https://www.chiben.ac.jp/wakayama-el>

併設校

智辯学園和歌山中学・高等学校

21世紀に飛翔する智辯学園

智辯学園高等学校 (昭40.4)
智辯学園中学校 (昭42.4)

奈良県五條市野原中4丁目1-51
TEL.0747-22-3191

智辯学園和歌山中学・高等学校 (昭53.4)
智辯学園和歌山小学校 (平14.4)

和歌山県和歌山市冬野2066-1
TEL.073-479-2811

智辯学園奈良カレッジ (平16.4)
小学部・中学部・高等部

奈良県香芝市田尻265番地
TEL.0745-79-1111